

主编 章如虹 金棣生 毛树松

中医病证治疗常规

临病之准绳

一九七九年

章如虹

科学技术文献出版社

PDG

現代中醫病证臨床
治療之准繩

一九七九年

鄧鐵謨
敬識



《中医病证治疗常规》编委会

顾问 张大钊 李培生 邓铁涛 郁文俊

廖品正 鲍亦万 李仁康

主编 章如虹 金棣生 毛树松

副主编 邵企红 邵朝娣 杨勤建

编委 (按姓氏笔划为序)

马群英 王林珍 刘多 刘行稳 刘明道 刘耀先

刘豫淑 麦沛民 李家庚 汪草原 汪鲁莎 沈冶

邵企红 邵朝娣 余世荃 肖建桥 尚锦秀 金文银

金棣生 杨勤建 林爱珍 张荣 张穗 康世英

段孝著 夏瑾瑜 章如虹 梅乾茵 熊敦善

审校 (按姓氏笔划为序)

毛树松 刘安兰 李仁康 李家庚 吴寿善 沈冶

邵朝娣 邵企红 金棣生 郁文俊 段孝著 章如虹

梅振翼 廖品正 熊敦善

序

由全国中医医院信息管理中心主编的《中医病证治疗常规》即将出版面世。章如虹、毛树松教授寄来样稿邀我为此书作序，回首前尘往事，不禁感慨万千。

六十年代初，我在湖北中医学院西医学中医研究班毕业，回到武汉医学院工作后，就开始和蒋洁尘老师、任恕教授等一起进行电子计算机的中医辨证论治研究工作，并在1965年通过国家科委的鉴定。当时的目的也就是要为中医的辨证论治进行标准规范化的工作，可惜这个工作由于十年浩劫而终止了。

从过去对中医议论认为中医不科学，到近日提出要将“中医科学化”或甚至要“自我从属于西医”，究其根源，其实都是对中医科学缺乏认识，没有信心的一种表现。因为中医诊断和治疗疾病不像西医那样有明确的诊断标准和治疗方案，有鉴于此，国家中医药管理局于1994年发布了一个《中医病证诊断疗效标准》，1995年国家又发布了《中医病证分类与代码》，对中医内、外、妇、儿、五官、肛肠、皮肤、骨伤等9个科的临床常见病的名称、内涵、诊断及疗效进行了规范。

现在信息管理中心的专家教授又继续进行了一项锦上添花的工作。为这些病证作了治疗方案，既有辨证论治的理法方药，又收集了成方、验方、针灸、推拿、外治等丰富的中医综合疗法，使得一些临床工作者在治疗选方用药及其他方面，能够有一定的规范和判断标准，从而提高临床疗效和进行科学总结提供了更可靠的依据。

“中医的生命在于学术”，本书的出版，将对发扬中医学学术作出可喜的贡献，故乐而为序，并对本书的编者致敬。

张有钢

1997年春节后于香港

前 言

随着科学技术的发展,医政管理工作的加强和中医医疗技术内涵探讨的深入,中医病证及诊疗的标准化、规范化工作已成为中医学界面临的一个重要任务。为此,国家中医药管理局于1994年颁布了中华人民共和国中医药行业标准《中医病证诊断疗效标准》(以下简称为“中医行标”),继之又于1995年颁布了中华人民共和国国家标准《中医病证分类与代码》(以下简称为“中医国标”)。上述两个标准对中医内、外、妇、儿、眼、耳鼻喉、肛肠、皮肤、骨伤等9个科的临床常见病及证候进行了名称、内涵、诊断及疗效的规范界定,为我国的中医药事业的发展奠定了基础。

为了便于广大中医药工作者更好地掌握使用“中医行标”和“中医国标”,提高中医的临床诊断治疗效果,促进中医诊疗技术的规范化、标准化,国家中医药管理局全国中医医院信息管理中心组织有关专家教授编写了《中医病证治疗常规》一书。

本书以“中医行标”为纲,对9个科临床常见的406个中医疾病,分别按病名、临床表现、病名来源、源流、辨证治疗、证候分类、治法、方药、成药验方及其他疗法(如针灸、推拿、外治)等部分次第编写,并对疾病的西医治疗作出了简单的提示,同时将“中医国标”的病证代码分别附于病名、证候名后,便于临床工作者查阅检索。

本书在编写中,以临床实用为主,纳百家之言,取精拔萃,博众所长,对每一疾病的症候分类、治法治则都进行了严格的筛选和整理,把传统的治疗方法和现代的治疗原则有机的结合起来。使书中提供的中医病症的治疗更具规范,疗效更为确切,突出的体现了该书的科学性、权威性与实用性的编写特点,对提高广大中医药工作者的临床诊疗水平将具有重要的指导作用,为我国中医病症的疹断治疗的规范化起到提纲挈领的作用。

本书在编写过程中,得到了我国很多著名中医学专家的支持。张大钊教授、李培生教授、邓铁涛教授、郁文俊教授、廖品正教授、鲍亦万教授及李仁康教授在百忙中或抽暇审定书稿或提出宝贵意见,构建和丰富了本书的框架与内涵。邓铁涛教授、张大钊教授还欣然为本书题词作序,对本书的出版价值和意义予以了充分肯定。

本书在出版过程中还得到了香港中医药学术促进协会和武汉天源科技文化有限公司的鼎力支持,在此表示感谢。

由于时间有限,不足之处尚祈读者指正。

《中医病证治疗常规》编委会

一九九七年七月

目 录

第一章 内科疾病

一、感冒病	(1)
二、咳嗽病	(2)
三、风温肺热病	(4)
四、肺癰病	(6)
五、肺癆病	(7)
六、咯血(咳血)病	(8)
七、悬饮病	(10)
八、喘病	(10)
九、哮病	(13)
十、胃脘痛病	(14)
十一、噎膈病	(16)
十二、呕吐病	(18)
十三、吐血病	(19)
十四、便血病	(21)
十五、痢疾病	(22)
十六、泄泻病	(25)
十七、黄疸病	(28)
十八、水臌病	(30)
十九、便秘病	(32)
二十、紫癜病	(33)
二十一、湿温病	(35)
二十二、霍乱病	(36)
二十三、中暑病	(38)
二十四、疟疾病	(39)
二十五、血吸虫病	(41)
二十六、绦虫病、囊虫病	(44)
二十七、钩虫病	(46)
二十八、丝虫病	(47)
二十九、蛔虫病	(48)
三十、蛲虫病	(49)
三十一、胸痹心痛病	(50)
三十二、心悸病	(52)
三十三、不寐病	(53)
三十四、自汗、盗汗病	(55)
三十五、郁病	(56)
三十六、癫病	(57)

三十七、狂病	(58)
三十八、癰病	(59)
三十九、头风病	(60)
四十、眩晕病	(62)
四十一、痿病	(63)
四十二、中风病	(64)
四十三、水肿病	(66)
四十四、消渴病	(68)
四十五、热淋病	(69)
四十六、石淋病	(70)
四十七、乳糜尿病	(71)
四十八、癰闭病	(72)
四十九、阳痿病	(73)
五十、遗精病	(74)
五十一、风湿痹病	(75)
五十二、疔痹病	(77)
五十三、骨痹病	(78)
五十四、肌痹病	(79)
五十五、痛风病	(80)

第二章 外科疾病

一、疔病	(82)
二、痰毒病	(83)
三、有头疽病	(84)
四、颜面疔疮病	(86)
五、手部疔疮病	(87)
六、红丝疔病	(87)
七、烂疔病	(88)
八、发颐病	(89)
九、丹毒病	(91)
十、流注病	(92)
十一、瘰癧病	(93)
十二、肉瘻病	(94)
十三、瘰癧病	(95)
十四、乳痈病	(96)
十五、乳癆病	(98)
十六、乳癖病	(99)
十七、乳(岩)癌病	(100)

十八、乳癖病	(101)
十九、粉刺性乳痈病	(103)
二十、乳衄病	(103)
二十一、乳核病	(104)
二十二、肠痈病	(105)
二十三、水疝病	(106)
二十四、子痈病	(108)
二十五、子痰病	(109)
二十六、精癥病	(110)
二十七、精浊病	(112)
二十八、膝疮病	(114)
二十九、褥疮病	(115)
三十、附骨疽病	(117)
三十一、流痰病	(118)
三十二、脱疽病	(119)
三十三、青蛇毒病	(121)
三十四、股肿病	(121)
三十五、水火烫伤病	(122)
三十六、冻疮病	(124)
三十七、毒蛇咬伤病	(125)
三十八、破伤风病	(126)

第三章 妇科疾病

一、月经先期病	(128)
二、月经后期病	(129)
三、月经先后无定期病	(130)
四、月经过多病	(131)
五、月经过少病	(132)
六、经期延长病	(133)
七、痛经病	(134)
八、闭经病	(136)
九、崩漏病	(138)
十、经行乳房胀痛病	(140)
十一、经行发热病	(141)
十二、经行头痛病	(142)
十三、经行身痛病	(143)
十四、经行泄泻病	(144)
十五、经行吐衄病	(145)
十六、经行口糜病	(146)
十七、绝经前后诸证	(146)
十八、带下病	(148)

十九、妊娠恶阻病	(150)
二十、胞漏病、胎动不安病	(151)
二十一、滑胎病	(152)
二十二、子肿病	(153)
二十三、子淋病	(154)
二十四、转胞病	(156)
二十五、产后血崩病	(156)
二十六、产后恶露不绝病	(158)
二十七、产后大便难病	(159)
二十八、产后感染发热病	(160)
二十九、产后自汗、盗汗病	(161)
三十、产后缺乳病	(162)
三十一、产后乳汁自出病	(163)
三十二、阴挺病	(164)
三十三、不孕病	(166)

第四章 儿科疾病

一、小儿感冒病	(168)
二、小儿咳嗽病	(169)
三、哮喘病	(171)
四、肺炎喘嗽病	(174)
五、鹅口疮病	(176)
六、小儿泄泻病	(176)
七、厌食病	(179)
八、疳病	(180)
九、小儿水肿病	(182)
十、麻疹病	(184)
十一、风痧病	(186)
十二、丹痧病	(187)
十三、水痘病	(189)
十四、疟疾病	(189)
十五、顿咳病	(191)
十六、暑湿病	(193)
十七、夏季热病	(195)
十八、疳夏病	(196)
十九、小儿遗尿病	(196)
二十、胎黄病	(198)
二十一、小儿疫毒痢病	(199)
二十二、奶癖病	(200)
二十三、积滞病	(200)
二十四、佝偻病	(201)

二十五、营养性贫血病	(202)
二十六、多动症	(203)
二十七、解颅病	(204)
二十八、夜啼病	(206)
二十九、奶麻病	(207)
三十、新生儿肺炎病	(208)
三十一、小儿蛔虫病	(209)
三十二、小儿蛲虫病	(209)
三十三、小儿姜片虫病	(210)

第五章 眼科疾病

一、针眼病	(212)
二、胞生痰核病	(213)
三、睑弦赤烂病	(214)
四、眼丹病	(215)
五、风赤疮痍病	(216)
六、沙眼病	(217)
七、目翳病	(218)
八、胞肿如桃病	(219)
九、胞虚如球病	(220)
十、上胞下垂病	(221)
十一、胞轮振跳病	(222)
十二、冷泪症病	(223)
十三、漏睛疮病	(224)
十四、暴风客热病	(224)
十五、天行赤眼病	(226)
十六、时复症病	(227)
十七、神水将枯病	(227)
十八、金疳病	(228)
十九、火疳病	(229)
二十、聚星障病	(231)
二十一、凝脂翳病	(232)
二十二、花翳白陷病	(233)
二十三、混睛障病	(234)
二十四、风轮赤豆病	(236)
二十五、疳积上目病	(236)
二十六、血翳包睛病	(238)
二十七、宿翳病	(239)
二十八、瞳神紧小病	(240)
二十九、黄液上冲病	(241)
三十、血灌瞳神病	(242)

三十一、绿风内障病	(243)
三十二、圆翳内障病	(244)
三十三、云雾移睛病	(246)
三十四、视瞻昏渺病	(247)
三十五、视直如曲病	(248)
三十六、暴盲病	(249)
三十七、青盲病	(254)
三十八、高风雀目病	(256)
三十九、能近怯远病	(257)
四十、目偏视病	(258)
四十一、瞳人转关病	(259)
四十二、眉棱骨痛病	(260)
四十三、鸬眼凝睛病	(261)
四十四、突起睛高病	(262)
四十五、振胞瘀痛病	(263)
四十六、物损真睛病	(264)

第六章 耳鼻喉科疾病

一、耳胀、耳闭病	(266)
二、脓耳病	(268)
三、暴聋病	(269)
四、久聋病	(271)
五、耳眩晕病	(273)
六、伤风鼻塞病	(275)
七、鼻塞病	(276)
八、鼻槁病	(278)
九、鼻渊病	(279)
十、鼻渊病	(281)
十一、鼻衄病	(284)
十二、急喉痹病	(286)
十三、慢喉痹病	(288)
十四、乳蛾病	(290)
十五、喉关痈病	(292)
十六、急喉疳病	(293)
十七、慢喉疳病	(295)
十八、梅核气病	(297)
十九、牙宣病	(298)
二十、口疮病	(299)

第七章 肛肠科疾病

一、内痔病	(302)
二、外痔病	(303)

三、混合痔病	(304)
四、肛裂病	(305)
五、肛痈病	(306)
六、肛漏病	(307)
七、脱肛病	(309)
八、悬珠痔病	(310)
九、骶尾部畸胎瘤病	(310)
十、骶尾部囊肿瘻病	(311)
十一、息肉痔病	(312)
十二、肛门直肠狭窄病	(313)
十三、肛门失禁病	(314)
十四、直肠前突病	(314)
十五、盆底肌痉挛综合征病	(315)
十六、肛门湿疣病	(315)
十七、锁肛痔病	(316)

第八章 皮肤科疾病

一、黄水疮病	(318)
二、流皮漏病	(319)
三、疥癩疽病	(320)
四、肥疮病	(320)
五、白秃疮病	(321)
六、圆癣病	(322)
七、鹅掌风病	(322)
八、脚湿气病	(323)
九、灰指(趾)甲病	(324)
十、疥疮病	(325)
十一、蛇串疮病	(326)
十二、热疮病	(328)
十三、扁瘡病	(328)
十四、疣目病	(329)
十五、鼠乳病	(330)
十六、鸡眼病	(331)
十七、疥癬病	(332)
十八、湿疮病	(333)
十九、四弯风病	(334)
二十、癩疹病	(335)
二十一、土风疮病	(337)
二十二、药毒病	(337)
二十三、天疱疮病	(339)
二十四、火赤疮病	(340)

二十五、登豆疮病	(341)
二十六、红蝴蝶疮病	(341)
二十七、皮痹病	(343)
二十八、狐惑病	(344)
二十九、猫眼疮病	(345)
三十、瓜藤缠病	(346)
三十一、风热疮病	(347)
三十二、白疙病	(348)
三十三、摄领疮病	(349)
三十四、顽湿聚结病	(350)
三十五、紫癜风病	(351)
三十六、白驳风病	(352)
三十七、薰黑斑病	(353)
三十八、蟹足肿病	(354)
三十九、酒齄鼻病	(354)
四十、粉刺病	(355)
四十一、面游风病	(356)
四十二、淋病	(357)

第九章 骨伤科疾病

一、锁骨骨折	(360)
二、肩胛骨骨折	(360)
三、肱骨大结节骨折	(361)
四、肱骨外科颈骨折	(361)
五、肱骨干骨折	(362)
六、肱骨髁上骨折	(362)
七、肱骨髁间骨折	(363)
八、肱骨外髁骨折	(363)
九、肱骨内上髁骨折	(364)
十、肱骨头骨折	(364)
十一、尺骨鹰嘴骨折	(365)
十二、桡骨小头骨折	(365)
十三、尺骨上1/3骨折并 桡骨头脱位	(365)
十四、尺桡骨干双骨折	(366)
十五、桡骨下1/3骨折并下尺 桡关节脱位	(366)
十六、桡骨下端骨折	(367)
十七、腕舟骨骨折	(367)
十八、掌骨骨折	(368)
十九、指骨骨折	(368)

- 二十、股骨颈骨折 (369)
- 二十一、股骨粗隆间骨折 (369)
- 二十二、股骨干骨折 (369)
- 二十三、股骨髁上骨折 (370)
- 二十四、髌骨骨折 (370)
- 二十五、胫骨平台骨折 (371)
- 二十六、胫腓骨干骨折 (371)
- 二十七、踝部骨折 (371)
- 二十八、距骨骨折 (372)
- 二十九、足舟骨骨折 (372)
- 三十、跟骨骨折 (373)
- 三十一、跖骨骨折 (373)
- 三十二、趾骨骨折 (374)
- 三十三、胸骨骨折 (374)
- 三十四、肋骨骨折 (374)
- 三十五、环、枢、椎骨折，
脱位 (375)
- 三十六、颈椎骨折，脱位 (375)
- 三十七、胸、腰椎骨折 (376)
- 三十八、骨盆骨折 (376)
- 三十九、尾椎骨折，脱位 (377)
- 四十、开放性骨折 (377)
- 四十一、陈旧性骨折 (377)
- 四十二、颞颌关节脱位 (378)
- 四十三、胸锁关节脱位 (378)
- 四十四、肩锁关节脱位 (379)
- 四十五、肩关节脱位 (379)
- 四十六、肘关节脱位 (380)
- 四十七、月骨脱位 (380)
- 四十八、舟骨、月骨
周围脱位 (380)
- 四十九、腕掌关节脱位 (381)
- 五十、掌指关节脱位 (381)
- 五十一、指间关节脱位 (381)
- 五十二、髋关节后脱位 (381)
- 五十三、髋关节前脱位 (382)
- 五十四、髋关节中心性脱位 (382)
- 五十五、膝关节脱位 (382)
- 五十六、髌骨脱位 (383)
- 五十七、踝关节脱位 (383)
- 五十八、距骨脱位 (384)
- 五十九、距骨下关节脱位 (385)
- 六十、跖跗关节脱位 (385)
- 六十一、跖趾关节脱位 (385)
- 六十二、趾间关节脱位 (385)
- 六十三、落枕病 (385)
- 六十四、颈椎病 (386)
- 六十五、肩周炎 (387)
- 六十六、肩关节扭挫伤 (388)
- 六十七、二头肌长头腱
腱鞘炎 (388)
- 六十八、网上肌肌腱炎 (389)
- 六十九、肩峰下滑囊炎 (390)
- 七十、肘关节软组织扭挫伤 (390)
- 七十一、肘后滑囊血肿 (391)
- 七十二、桡骨小头半脱位 (391)
- 七十三、肱骨外上髁炎 (391)
- 七十四、腕关节扭挫伤 (392)
- 七十五、腕三角纤维软
骨损伤 (393)
- 七十六、桡骨茎突狭窄性
腱鞘炎 (393)
- 七十七、桡侧腕伸肌腱
周围炎 (394)
- 七十八、掌指关节扭挫伤 (394)
- 七十九、掌指关节侧副韧带
损伤 (395)
- 八十、屈指肌腱狭窄性
腱鞘炎 (395)
- 八十一、髋关节一过性
滑膜炎 (396)
- 八十二、股骨头缺血性坏死 (396)
- 八十三、股内收肌损伤 (397)
- 八十四、股四头肌扭挫伤 (398)
- 八十五、髌上滑囊血肿 (398)
- 八十六、膝部滑囊炎 (399)
- 八十七、膝关节交叉韧带
损伤 (400)
- 八十八、膝关节侧副韧带
损伤 (400)

八十九、膝关节半月板损伤 … (401)	—〇二、腰椎间盘突出症 …… (407)
九十、膝关节创伤性滑膜炎 … (401)	—〇三、棘上韧带损伤 …… (408)
九十一、髌下脂肪垫损伤 …… (402)	—〇四、第三腰椎横突 综合征 …… (409)
九十二、髌骨软化症 …… (402)	—〇五、髋髂关节损伤 …… (409)
九十三、胫骨结节骨骺炎 …… (403)	—〇六、腰椎椎管狭窄症 …… (410)
九十四、踝关节扭伤 …… (403)	—〇七、臀上皮神经损伤 …… (411)
九十五、腓骨长短肌腱滑脱 … (404)	—〇八、梨状肌综合征 …… (411)
九十六、跖跗关节扭伤 …… (404)	—〇九、头部内伤病 …… (412)
九十七、跖管综合征 …… (405)	——〇、胸部内伤病 …… (413)
九十八、腱鞘囊肿 …… (405)	——一、腹部内伤病 …… (415)
九十九、背肌筋膜炎 …… (405)	——二、四肢挤压伤 …… (416)
一〇〇、急性腰扭伤 …… (406)	——三、筋膜间隔综合征 …… (417)
一〇一、腰肌劳损 …… (406)	

第一章 内科疾病

一、感冒病(BNW010)

感冒病系外感风邪，客于肺卫，以鼻塞、流涕、咳嗽、恶寒、发热、头身疼痛为主要临床表现。

来源：《中医病证诊断疗效标准》第1页。

源流：起感冒之名，始见于北宋《仁斋直指方·诸风》，但早在《内经》即有类似本病的记载；宋代陈无择曾将此列为专题论述；元代朱丹溪论治本病，立辛温、辛凉两大法则，对后世影响深远。

(一) 辨证治疗

1、风寒束表证(ZBFH20)

【主症】恶寒、发热、无汗、头痛身疼，鼻塞流清涕，喷嚏。舌苔薄白，脉浮紧或浮缓。

【治法】辛温解表。

【方药】荆防败毒散(《外科理例》)加减。

荆芥 10 克 防风 10 克 生姜 10 克 柴胡 10 克 茯苓 12 克
薄荷 6 克(后下) 川芎 5 克 桔梗 10 克 枳壳 10 克 独活 8 克
甘草 5 克 羌活 6 克

夹湿可用羌活胜湿汤；内湿偏胜，可加苍术、厚朴、半夏、陈皮。

2、风热犯表证(ZBFR20)

【主症】发热、恶风、头胀痛，鼻塞流黄涕，咽痛咽红、咳嗽。舌边尖红，苔白或微黄，脉浮数。

【治法】辛凉解表。

【方药】银翘散(《温病条辨》)加减。

银花 10 克 连翘 10 克 鲜芦根 50 克 牛蒡子 10 克 荆芥 10 克
竹叶 8 克 薄荷 6 克(后下) 桔梗 10 克 甘草 5 克 豆豉 10 克

头胀痛较甚者加桑叶、菊花；咳嗽痰多加象贝母、前胡、杏仁；咽喉红肿疼痛，酌配一枝黄花、土牛膝、玄参；时行热毒症状明显，加大青叶、蒲公英、草河车等；若风热化燥伤津，或秋令感受温燥致病，伴有呛咳少痰，口、咽、唇、鼻干燥，苔薄，质红少津等燥象者，可酌配南沙参、天花粉、梨皮等；若肺有蕴热，复感风寒而成表寒里热(亦称寒包火)之候，症见烦热恶寒，少汗，咳逆气急，痰稠，声哑，可用麻杏石甘汤(《伤寒论》)加羌活、鱼腥草等。

3、暑湿表证(ZBSM10)

【主症】见于夏季，头昏胀重，鼻塞流涕，恶寒发热，或热势不扬，无汗或少汗，胸闷泛恶。舌苔黄腻，脉濡数。

【治法】清暑祛湿解表。

【方药】新加香薷饮(《温病条辨》)加减。

银花 10 克 连翘 10 克 香薷 10 克 扁豆 10 克 厚朴 10 克

暑热偏重，可加黄连、青蒿、鲜荷叶、鲜芦根；湿困卫表，加豆卷、藿香、佩兰；里湿偏重，加

苍术、白蔻仁、半夏、陈皮；小便短赤加六一散、赤苓。

若气虚感冒则益气解表，方用参苏饮（《太平惠民和剂局方》）加减。

人参 6 克 茯苓 12 克 炙甘草 6 克 苏叶 6 克 葛根 15 克
前胡 10 克 半夏 10 克 枳壳 10 克 桔梗 10 克 陈皮 10 克

若平素表虚自汗，易受风邪者，可用玉屏风散（《世医得效方》）。

若阴虚感冒则滋阴解表，方用加减葳蕤汤（《通俗伤寒论》）加减。

玉竹 12 克 甘草 5 克 大枣 10 克 豆豉 10 克 麦冬 10 克
薄荷 6 克（后下）葱白 10 克 桔梗 10 克 沙参 10 克

（二）成药验方

1、连须葱白 9 克，生姜 5 片，橘皮 6 克，加红糖 30 克，水煎热服，治风寒感冒。

2、薄荷 3 克，鲜芦根 30 克，鼠鞠草 15 克，板蓝根 30 克；大青叶 30 克，鸭跖草 15 克，桔梗 10 克，生甘草 6 克。以上两方，每日 1 剂，水煎服，均治风热感冒。

3、午时茶：每次水煎 1 袋，日服 2—3 次，热服；川芎茶调散，每日水煎 1 袋，日服 2 次，热服。以上均适用于风寒感冒之轻症。

4、感冒退热冲剂：每次 1—2 袋，开水冲饮，日服 2—3 次；银翘解毒片，每次吞服 4 片，日服 2—3 次。以上均适用于风热感冒。

（三）其他治法

针灸：艾条温和灸足三里、石门穴，可治疗易患感冒的老人。

二、咳嗽病：(BNF010)

咳嗽是因邪客肺系，肺失宣肃，肺气不清所致，以咳嗽、咯痰为主要症状的病症。多见于急、慢性支气管炎。

来源：《中医病证诊断疗效标准》第 1 页。

源流：最早系统论述咳嗽的是《内经》，《素问·咳论》是讨论咳嗽的专篇；《诸病源候论》将咳嗽分为十种类型；明代张景岳将咳嗽归纳为外感与内伤两大类，使咳嗽的辨证分类始臻于完善。

（一）辨证治疗

1、风寒袭肺证：(ZBFH51)

【主症】咳嗽声重，咯痰稀薄色白，恶寒，或有发热，无汗。舌苔薄白，脉浮紧。

【治法】疏风散寒，宣肺止咳。

【方药】杏苏散（《温病条辨》）加减。

紫苏 10 克 前胡 10 克 杏仁 10 克 桔梗 10 克 枳壳 10 克
陈皮 10 克 半夏 10 克 茯苓 12 克 甘草 5 克 生姜 10 克
大枣 15 克

若风寒外束，肺热内郁，用麻杏石甘汤；若风寒兼湿，加厚朴、苍术等；若风寒夹饮，用小青龙汤。

2、风热犯肺证：(ZBFR50)

【主症】咳嗽气粗，咯痰粘白或黄，咽痛或咳声嘶哑，或有发热，微恶风寒，口微渴。舌尖红，苔薄白或黄，脉浮数。

【治法】疏风清热，宣肺止咳。

【方药】桑菊饮(《温病条辨》)。

桑叶 10 克 菊花 10 克 薄荷 6 克(后下) 甘草 10 克 芦根 30 克
风热兼湿加杏仁、苡仁;风热夹暑加六一散、鲜荷叶;肺热内盛,加黄芩、知母。

3、燥邪伤肺证:(ZBZF20)

【主症】干咳少痰,咯痰不爽,鼻咽干燥,口干。舌尖红,苔薄黄少津,脉细数。

【治法】疏风清肺,润燥止咳。

【方药】桑杏汤(《温病条辨》)加减。

桑叶 10 克 豆豉 10 克 杏仁 10 克 象贝母 10 克 南沙参 15 克
梨皮 15 克 山梔 10 克

若燥证与风寒并见,乃是凉燥证,方用杏苏散加减。

4、痰热壅肺证:(ZYTR90)

【主症】咳嗽气粗,痰多稠黄,烦热口干。舌质红,苔黄腻,脉滑数。

【治法】清热化痰,肃肺止咳。

【方药】清金化痰丸(《统旨方》)加减。

桑白皮 15 克 黄芩 10 克 山梔 10 克 知母 10 克 川贝 10
瓜蒌 15 克 桔梗 10 克 麦冬 10 克 橘红 10 克 茯苓 12 克
甘草 10 克

若肺热壅盛加银花、鱼腥草、生石膏、葶苈子。

5、肝火犯肺证:(ZZGU50)

【主症】咳呛气逆阵作,咳时胸肋引痛,甚则咯血。舌红,苔薄黄少津,脉弦数。

【治法】清肝泻肺,顺气降火。

【方药】加减泻白散(《医学发明》)合黛蛤散(验方)。

桑白皮 15 克 知母 10 克 黄芩 10 克 地骨皮 15 克 甘草 6 克
桔梗 10 克 青皮 6 克 陈皮 10 克 青黛 20 克 蛤壳 30 克
丹皮 10 克 山梔 10 克

6、痰湿蕴肺证:(ZYT90)

【主症】咳声重浊,痰多色白,晨起为甚,胸闷脘痞,纳少。舌苔白腻,脉滑。

【治法】健脾燥湿,化痰止咳。

【方药】二陈汤(《和剂局方》)加味。

半夏 10 克 茯苓 12 克 陈皮 10 克 甘草 10 克 苍术 10 克
厚朴 10 克

寒痰较重加干姜、细辛;久病脾虚加党参、白术、炙草。痰滞食阻,可合三子养亲汤。

7、肺阴亏虚证:(ZZFY20)

【主症】咳久痰少,咯吐不爽,痰粘或夹血丝,咽干口燥,手足心热。舌红,少苔,脉细数。

【治法】滋阴润肺,止咳化痰。

【方药】沙参麦冬汤(《温病条辨》)加减。

沙参 15 克 麦冬 10 克 花粉 15 克 扁豆 10 克 甘草 5 克
贝母 10 克 甜杏仁 10 克 玉竹 10 克 百合 15 克 桑叶 10 克

8. 肺气亏虚证: (ZZFV10)

【主症】病久咳声低微, 咳而伴喘, 咯痰清稀色白, 食少, 气短胸闷, 神倦乏力, 自汗畏寒。舌淡嫩, 苔白, 脉弱。

【治法】补益肺气, 化痰宁嗽。

【方药】补肺汤(《永类铃方》)加减。

人参 10 克 黄芪 30 克 熟地 10 克 五味子 6 克 紫菀 10 克 桑白皮 15 克

(二) 成药验方

- 1、矮地茶、桑叶, 水煎服, 1 日 3 次, 适用于风热咳嗽。
- 2、桑叶、麦冬、枇杷叶, 水煎服, 1 日 3 次, 适用于燥热咳嗽。
- 3、黄芩、姜壳、鱼腥草, 水煎服, 1 日 3 次, 适用于痰热咳嗽。
- 4、川贝、梨汁、冰糖, 加水煎服, 适用于阴虚咳嗽。
- 5、蛇胆川贝液: 每次 1 支, 每日 2—3 次。适用于痰热咳嗽。
- 6、通宣理肺丸: 每次 1 丸, 每日 2—3 次, 适用于风寒咳嗽。
- 7、参苏理肺丸: 每次 6 克, 1 日 2—3 次。适用于风寒咳嗽。
- 8、养阴清肺丸: 每次 2 丸, 每日 2—3 次, 适用于燥热咳嗽。
- 9、杏苏二陈丸: 每次 6 克, 1 日 2 次, 适用于痰湿咳嗽。
- 10、人参保肺丸, 每次 2 丸, 每日 2 次, 适用于肺气虚咳嗽。
- 11、如宁嗽丸(片), 每次 1 丸(4 片), 1 日 2—3 次。适用于肺阴虚咳嗽。

(三) 其他治法

针灸: 主穴肺俞、合谷。配穴痰多配丰隆; 咽痒而咳刺天突; 胸闷刺内关, 膻中; 久咳体弱, 温灸肺俞、肾俞、脾俞。外感咳嗽宜浅刺用泻法, 内伤咳嗽针宜平补平泻, 并可配合艾灸。

三、风温肺热病: (BNW031)

风温肺热病是由风热病邪犯肺, 热壅肺气, 肺失清肃所致, 以发热, 咳嗽, 胸痛等为主要临床表现。相当于急性肺部炎性病变。

来源:《中医病证诊断疗效标准》第 2 页。

源流: 最早记载风温的是《伤寒论》, 风温病作为一个独立病种明确提出的是明代汪石山。清代医家创造性地总结出了一整套诊治风温的理论和方药, 从而形成了对风温病因证脉治较为全面的认识, 其中尤以叶天士、陈平伯的贡献最为突出。

(一) 辨证治疗

1、风热犯肺证: (ZBFR50)

【主症】身热无汗或少汗, 微恶风寒, 咳嗽痰少, 头痛, 口微渴。舌边尖红, 苔薄白, 脉浮数。

【治法】辛凉解表, 清热宣肺。

【方药】银翘散(《温病条辨》)。

银花 15 克 连翘 10 克 荆芥 10 克 豆豉 10 克 芦根 30 克
桔梗 10 克 甘草 10 克 薄荷 6 克(后下) 牛 子 10 克 竹叶 8 克

2、痰热壅肺证: (ZYTR90)

【主症】身热烦渴, 汗出, 咳嗽气粗, 或痰黄带血, 胸闷胸痛, 口渴。舌红, 苔黄, 脉洪数或滑数。

【治法】清热宣肺化痰。

【方药】麻杏石甘汤(《伤寒论》)加味。

麻黄 10 克 杏仁 10 克 生石膏 60 克(先煎) 黄芩 10 克
知母 10 克 贝母 10 克 甘草 10 克 鱼腥草 15 克

若兼热结肠道,腑气不通,宜用宣白承气汤。

3、肺胃热盛证:(ZZFP50)

【主症】身热,午后为甚,心烦懊恼,口渴多饮,咳嗽痰黄,腹满便秘。舌红,苔黄或灰黑而燥,脉滑数。

【治法】辛寒清气。

【方药】白虎汤(《伤寒论》)加減。

生石膏 60 克(先煎) 知母 10 克 甘草 10 克 黄芩 10 克
芦根 15 克 杏仁 10 克 麻黄 6 克 竹叶 10 克

4、热闭心包证:(ZBRX20)

【主症】壮热,烦躁不安,口渴不欲饮,甚则神昏谵语,痉厥或四肢厥冷。舌绛少津,苔黄,脉弦数或沉数。

【治法】清心开窍。

【方药】清营汤(《温病条辨》)送服安宫牛黄丸(《温病条辨》)或至宝丹(《太平惠民和剂局方》)。

清营汤方:犀角(水牛角代)2 克(磨兑),生地 15 克,玄参 10 克,竹叶心 8 克,麦冬 15 克,丹参 15 克,黄连 5 克,银花 15 克,连翘 10 克。

5、气阴两虚证:(ZVYV30)

【主症】身热渐退,干咳痰少而粘,自汗神倦,纳少口干。舌红少苔,脉细或细数。

【治法】清热益气,养阴生津。

【方药】竹叶石膏汤(《伤寒论》)加減。

竹叶 10 克 生石膏 30 克(先煎) 半夏 10 克 麦冬 15 克
太子参 10 克 甘草 10 克 梗米 30 克

6、邪陷正脱证:(ZBX020)

【主症】呼吸短促,鼻翼煽动,面色苍白,大汗淋漓,甚则汗出如油。四肢厥冷,紫绀,烦躁不安,身热骤降。或起病无身热,面色淡白,神志逐渐模糊。舌质淡紫,脉细数无力,或脉微欲绝。

【治法】益气固脱。

【方药】生脉散(《内外伤辨感论》)加味。

人参 10 克 麦冬 12 克 五味子 8 克
若阳亦外亡,加附子;汗出不止,加龙骨、牡蛎。

(二) 成药验方

1、清开灵:8—10 毫升,加入 5% 葡萄糖 500 毫升中静滴,每日 1 次。

2、鱼腥草 20 克,蒲公英 20 克,虎杖 20 克,败酱草 20 克,水煎服,每日 2 次。

3、鱼腥草 50 克,大青叶 50 克,虎杖 100 克,瓜蒌仁 25 克,日 1 剂,水煎分 2 次服。

4、青贯注射液(每 10 毫升中含生药大青叶、贯众、蚤休各 10 克);50 至 80 毫升,加入 5% 葡萄糖或葡萄糖氯化钠注射液 1000 毫升中,常规静滴,连续 7—10 日,每日 1—2 次。

(三) 其他治法

病情严重者可配合西药抗感染、抗休克等治疗。

四、肺痈病: (BNF030)

肺痈是由风热邪毒壅滞于肺,热壅血瘀,血腐化脓而成。以发热,胸痛,咳吐腥臭脓血痰为主要症状的肺化脓症。

来源:《中医病证诊断疗效标准》第2—3页。

源流:本病首见于《金匱要略》,该书列专篇进行了论述。后世各家又不断加以补充,如《备急千金要方》创用苇茎汤以清热排脓;《外科正宗》提出初起在表者,宜散风清热,已有里热者宜降火抑阴,成脓者宜平肺排脓,脓溃正虚者宜补肺健脾等等,使本病的治疗渐趋完善。

(一) 辨证治疗

1、初期: (ZVM040)

【主症】恶寒发热,咳吐白色粘痰,胸痛,咳时加重。舌苔薄黄或薄白,脉浮滑数。

【用法】清肺解表。

【方药】银翘散(《温病条辨》)加减。

银花 12 克	连翘 10 克	芦根 30 克	竹叶 10 克	桔梗 10 克
甘草 5 克	牛蒡子 10 克	荆芥 10 克	豆豉 10 克	薄荷 6 克(后下)

内热转甚者,加生石膏、黄芩;咳甚痰多加杏仁、川贝母、前胡、桑皮、冬瓜仁等。

2、成痈期: (ZVM120)

【主症】高热寒战,继则壮热不寒,汗出烦渴,咳呛气急,咯痰黄浊,胸满痛,转侧不利。舌质红,苔黄腻,脉滑数有力。

【治法】清肺化痰消痈。

【方药】《千金》苇茎汤(《千金要方》),如金解毒散(《景岳全书》)加减。

苡仁 15 克	冬瓜仁 15 克	桃仁 10 克	桔梗 10 克	芦根 30 克
甘草 10 克	黄芩 10 克	黄连 6 克	山梔 10 克	银花 15 克
红藤 30 克	鱼腥草 15 克	蒲公英 30 克	紫花地丁 20 克	

若痰浊阻肺,咳而喘满,不得卧者,加葶苈子;热毒瘀结,咯脓浊痰,腥臭味严重,可合犀黄丸。

3、溃脓期: (ZVM150)

【主症】咳吐脓血,状如米粥,量多腥臭,胸满,心烦懊恼。舌质红绛,苔黄腻,脉滑数。

【治法】清热解毒,化瘀排脓。

【方药】加味桔梗汤(《医学心悟》)加减。

桔梗 20 克	苡仁 30 克	贝母 10 克	黄芩 10 克	橘红 10 克
银花 15 克	甘草 10 克	白芨 10 克	鱼腥草 15 克	败酱草 15 克
金荞麦根 20 克				

若津伤明显,加沙参、麦冬;气虚不能托毒,加生黄芪;若形症俱实,可予桔梗白散峻驱其脓,每服 0.6 克。

4、恢复期: (ZVM170)

【主症】热退咳减,脓血痰减少,胸肋隐痛,气短神疲,自汗盗汗,低热。舌质红或淡红,苔薄,脉细或细数无力。

【治法】养阴补肺。

【方药】沙参清肺汤(验方)、桔梗杏仁煎(《景岳全书》)加减。